

直前東大英語発展演習

【2 回目】 ★



問題

【1】

解答例

親の介護義務の根拠を、親子間の無上の愛や遺伝子や文化を伝えてくれる親を守るためとするのは不十分である。親も子も、常に最適解を計算する機械ではなく、自己の遺伝子や文化を向上させるために相手を否定する可能性もあるからである。〔110字〕

別解

親の介護義務の根拠を、知識や文化を愛情豊かに教えてくれる親を守るためという進化的議論に求めてはいけない。ダーウィンの本能は、時には親にも子にも自己の利益を優先させて世代間の利害の衝突を生じさせる場合もあるからである。〔110字〕

全訳

老人介護についての甘い期待から話を始めよう。この期待に欠陥があることは明らかだが、それにもかかわらずこの期待から説明することは、なぜ、どんな点でこの期待がだめなのか考えざるを得なくなるので、参考になるだろう。バラ色の人生観を抱いている一般の人はこう理を説くだろう。親と子供は互いに愛し合っているし、愛すべきである。親は子供に最善の努力を傾け、子供のために犠牲を払う。子供は自分を育ててくれた親を尊敬し、感謝する。だから、世界中の子供が年老いた親を大切に世話をしてくれることを期待する。

単純な進化生物学者も、異なった推論を辿って、これと同じ心温まる結論に達するかもしれない。自然選択は遺伝子を子孫に伝えることに関係する。人が自分の遺伝子を伝える最も直接的な方法は子供を介することだ。だから、自然選択は、子供の生存と繁殖を高めるような仕方で行動する遺伝子を持った親に有利に働く。同様に、文化選択も学習した行動を伝えることに関するもので、親は子供の行動モデルとして機能する。したがって、親が子供のために、自分の命を犠牲にしてまで、犠牲を払うことは、そうすることによって子供の生存と繁殖の成功を高めるのであれば、合理的である。逆に、子供よりも年齢を重ねた親は子供がまだ蓄積していない財産や地位、知識や技能を蓄積してきた可能性が高い。それらの財産や地位、知識や技能を伝えることによって子供を助けることは親の遺伝子的、文化的利益にかなうことを子供は知っている。そこで、子供は、親が自分たちをずっと助けられるように年老いた親の世話をすることは自分たちの利益にもかなっていると理を説く。もっと一般的には、相互に関係のある個人から成る社会では、人は若い世代全体が年寄りの世話をするものと期待し、一方、年寄り文化や遺伝子を若い世代の人々に分かち与える、と考えられている。

しかし、私たちは、こういったバラ色の予測は一部しか真実でないことを知っている。確かに、通常、親は子供の世話をし、次に子供がしばしば親の世話をし、また若い世代全体が年寄りの世話をする。けれども、こういった結論はたいていの国の少なくとも一部の子供には当てはまらないし、また一部の国のたいていの子供にも当てはまらない。なぜ当てはまらないのか。私たちの推論のどこが間違っていたのか。

私たちの素朴な間違い（現在、進化生物学者はこれを回避している）は、世代間の利害の衝突を考えるべきだったのに考えなかったということだ。親は必ずしも際限のない犠牲を払うべきではないし、子供もいつも感謝するべきではないし、愛には限度があるし、また人は

自分の遺伝子と文化の最適な伝達を絶えず計算に入れ、それに従って行動するダーウィンの計算機ではないのである。老人も含め、すべての人が、単に子供のためだけでなく、自分自身のためにも快適な生活を望んでいる。だから、親が子供のために進んで耐える犠牲にもしばしば限度がある。反対に、子供は、多くの場合、快適な生活を楽しみたくて仕方がない。子供は、親自身がその財産をたくさん使えば使うほど、子供が楽しむのに利用できる財産はますます残り少なくなると考えるが、これはまったく正しいのだ。子供がダーウィンの計算機のように本能的に行動する範囲内においても、子供はいつも自分の年老いた親の世話を「すべきではない」というのが自然選択の教えるところである。子供が、親に対してけちくさくすることによって、親を遺棄することによって、さらには親を殺すことによって、自分自身の遺伝子の伝達をよりよくすることができる状況はたくさんあるのだ。

注

- ℓ. 1 ◇ naïve 「単純な；幼稚な」
- ℓ. 3 ◇ layperson 「素人；一般人」
- ℓ. 7 ◇ evolutionary biologist 「進化生物学者」
- ℓ. 9 ◇ natural selection 「自然選択；自然淘汰」
- ℓ. 11 ◇ reproduction 「繁殖」
- ℓ. 15 ◇ accumulate ～ 「～を蓄積する」
- ℓ. 18 ◇ reason … 「…と推論する」
- ℓ. 30 ◇ optimum 「最適の度合い；最適条件」
- ℓ. 33 ◇ impatient to … 「しきりに…したがる」
- ℓ. 36 ◇ insofar as … 「…する限りでは」
- ℓ. 39 ◇ stingy 「けちな；みみっちい」

【配点】 23 点

【配点の目安】

- ①親の介護義務の根拠を「年老いた親を介護する理由を」（4 点）
- ②親子間の無上の愛や遺伝子や文化を伝えてくれる（3 点）
 - 知識や文化を愛情豊かに伝えてくれる
 - 「…してくれる」の「…」の部分は、第 1～2 段落で述べられている「愛情」「遺伝子」「財産」「地位」「知識」「技能」「文化的利益」「遺伝子的利益」など、親が持っているものに言及していれば可。
- ③親を守るためとするのは不十分である（4 点）
 - 親のためだとするのは甘い期待である
- ④親も子も、常に最適解を計算する機械ではなく、（4 点）
- ⑤自己の遺伝子や文化を向上させるために相手を否定する可能性もあるからである。（8 点）

①～⑤の要素が不足している場合は、それぞれ配点分減点

指定字数の 90 語未満、もしくは 110 語を超えるもの - 3 点

単語レベルの誤り - 1 ～ - 2 点

【2】

解答

Part A

(1) c : e : f (2) d

Part B

(1) d (2) a (3) c (4) d (5) b

(6) a (7) c (8) b

Part C

(1) b (2) b (3) a (4) d (5) a

Script

CD 1 ~ 9

Part A

M : Good afternoon. May I help you?

W : Yes, I'd like to make a tour reservation.

M : Certainly. Which tour did you have in mind?

W : I'm interested in the "White Cliffs Country Tour."

5 M : The "White Cliffs Country Tour?" Excuse me, but where did you hear of that tour?

W : My brother was in Dover a few years ago. He gave me this brochure. Here it is.

See? "Discover County Kent, the garden of England, on the White Cliffs Country
Tour. Visit Dover, Deal and Walmer Castles along with the places where Charles
Dickens and Henry James stayed and wrote some of their best works." I'm
10 especially interested in the literary sites. This is the right travel agency, isn't it?

M : Well, yes. You're in the right place, but I'm afraid it's the wrong time. That tour is
only available from June through August.

W : How disappointing! Do you have any similar tours?

M : The Castle Tour includes visits to all three of the castles you mentioned. It also
15 includes a visit to the Old Town Jail, which has recently been renovated.

W : What about the Chilham Castle Gardens? My brother said they were lovely.

M : I'm sad to say that the previous owner passed away in 1998 and the new owners
have closed them to the public.

W : What a shame! I was also looking forward to seeing Bleak House. I'm quite fond of
20 Charles Dickens.

M : It's a very charming spot. Dickens spent his time there whenever he could get out
of London. You could always go there after the tour finishes. The food is not bad,
and you could spend a quiet evening exploring the neighborhood.

W : When does the tour finish?

25 M : We leave at 7 : 30 a.m. and return at 4 : 30 p.m.

W : I guess I'm out of luck. My ferry leaves at 4 : 00 tomorrow afternoon.

M : Why don't you join my walking tour this afternoon? I take visitors to see Dover
Castle every weekday at 1 : 30.

W : OK, that sounds pretty good. That will give me time for lunch. I'll see you in an hour.

[360 words]

Part B

W : This is quite an impressive place. I hadn't expected it to be so big.

M : There have been fortifications here since prehistoric times. Dover is a natural
harbor and Europe is less than two [actually, twenty] miles away. In the past 500
years alone England's enemies have attempted invasions here twelve times and made
5 preparations for many more. And the invasions go back much further. When
Julius Caesar came in 55 B.C., there was already a Celtic fort here. Caesar sensibly
avoided the fort by landing seven miles to the north. In his words, Dover was "no
place to land."

W : But the Romans did manage to invade.

10 M : Yes. And they in turn used Dover to control the invasions of others, such as the
Saxon pirates that repeatedly raided the coast. They also built two tall pharos, or
lighthouses, here.

W : Is there anything left that the Romans built?

M : Yes. Over there to the right you can see a stone church.

15 W : How beautiful! It looks very old.

M : It is. It was built by the Saxons around 1000 A.D. But see the bell tower?

W : Unh huh.

M : That was originally one of the lighthouses built by the Romans.

W : What about the main structures?

20 M : William the Conqueror built the first Norman castle here, but it was small compared to what you can see today. It was Henry II that started thinking big. He built most of what you can see now, the main castle with its two concentric walls and towers. But it's been changed many times since then in order to adapt to new military circumstances. Underneath the ground is a complex of tunnels begun in medieval
25 times and expanded and developed even into the post-war era.

W : I'd like to see that.

M : We won't have time to go underground today, but I can show you the main castle.

[303words]

Part C

M : Just three more blocks and we'll be back at the main square. You must be tired from all that walking and climbing.

W : I'm OK, but could we stop and look in this shop? I should get a souvenir for my kid.

M : Of course.

5 W : Hmm. What should I get? Most of this stuff is a bit expensive. Twenty pounds for a kid's shirt!

M : How about these old-fashioned lead toys? They have models of everything from Roman foot soldiers to Saxon pirates to WWII fighter pilots. Look, they even have Winston Churchill. And here's Sir Francis Drake.

10 W : These are interesting.

M : By the way, could I ask your child's name?

W : It's Joan.

M : That's a nice name. They have some literary figures here too. How about Charles Dickens? Or Emily Bronte?

15 W : I think I'll get this pirate. Joan wants to grow up to be a pirate.

M : That's certainly an interesting choice of professions.

W : Well, you know five-year-olds. By the way, is there anywhere I can get a good dinner around here?

M : Why don't you try the Beggar's Coat Inn? They serve a very reasonable meal.

20 W : The Beggar's Coat Inn. That's a charming name. How do I get there?

M : Go back toward the castle, turn right at the next corner and go down the street a little way. You'll find it on the left, just past the second light.

W : Back the way we came, turn right, then it's on the left, just past the second light.

Thanks. I guess I was really lucky to get a private tour.

25 M : It was my pleasure. [274words]

全訳

Part A

M : こんにちは。いらっしゃいませ。

W : ツアーの予約をしたいのですが。

M : かしこまりました。どちらのツアーをお考えですか？

W : 「ホワイトクリフ・カントリー・ツアー」というのに興味があります。

M : 「ホワイトクリフ・カントリー・ツアー」ですか？ 失礼ですが、どちらでそのツアーのことをお聞きになりましたか？

W : 数年前、弟がドーバーにいたんです。彼がこのパンフレットをくれたんですよ。ほら見てくださいな。「ホワイトクリフ・カントリー・ツアーでイングランドの庭園ケント州を発見しましょう。ドーバー城、ディール城、ウォルマー城、そしてチャールズ・ディケンズやヘンリー・ジェイムズが滞在していくつかの傑作を執筆した場所を訪問します。」って書いてありますよね？ 私は文学ゆかりの地に特に関心があるんです。こちらの旅行代理店でいいんですよね？

M : ええ。こちらでよいのですが、残念ながら時期がずれておりまして。そちらのツアーは6月から8月までしかやっていないんですよ。

W : まあ、残念！ 同じようなツアーはありますか？

M：キャッスル・ツアーなら、おっしゃっていた3つの城への訪問がすべて含まれていますし、最近改修されたオールタウン拘置所訪問も含まれていますよ。

W：チラム城ガーデンはどうなのでしょう？ 弟がきれいだと言っていました。

M：残念ながら、前の持ち主が1998年に亡くなってしまいまして、新しいオーナーは一般の方には庭園を非公開にしてしまったんですよ。

W：残念だわ！ 荒涼館を見るのも楽しみにしていたんですよ。チャールズ・ディケンズが大好きなんです。

M：とても魅力的な所ですよ。ディケンズは、ロンドンを出られる時はいつでもそこで過ごしたものです。ツアーが終わった後、いつでも行けますよ。食べ物もまあまあですし、近所を探索しながら静かな夕べをお過ごしになれるでしょう。

W：ツアーが終わるのはいつですか？

M：午前7時30分に出発して午後4時30分に戻ってきます。

W：ついてないみたいだわ。フェリーは明日午後4時に出発なんです。

M：今日の午後、私のウォーキング・ツアーに参加されてはいかがですか？ 平日は毎日1時30分に、旅行者の方をドーバー城見学にお連れしているんです。

W：なかなかよさそうですね。ランチを食べる時間もあるし。1時間後にお会いしましょう。

Part B

W：非常に印象深い所ですね。こんなに大きいとは思っていませんでした。

M：ここには先史時代から防御設備があるんですよ。ドーバーは自然の港で、ヨーロッパは2マイル（〔注〕実際は20マイル）も離れていません。過去500年間だけでも、イングランドの敵は12回もここに侵入しようとしてましたし、侵略の準備はもっとされてきました。また、侵略はそれよりずっと前にさかのぼります。紀元前55年にジュリアス・シーザーが来た時には、ここにはすでにケルト族の要塞がありました。シーザーは賢明にもその要塞を避けて7マイル北に上陸したんです。彼は、ドーバーは「上陸する場所はない」と言いました。

W：でも、ローマ人はなんとか侵入を果たしましたよね。

M：ええ。そうすると今度は、彼らはドーバーを他者からの侵略を統制するために利用したのです。この海岸を繰り返し襲っていたサクソンの海賊などのね。彼らはまた高いファロス灯台、つまり灯台を2棟建設しました。

W：ローマ人が建設したものは何か残っているのですか？

M：はい。右のあちらの方に、石造りの教会が見えるでしょう。

W：何てきれいなもの！ とても古そうですね。

M：そうですね。サクソン人によって、紀元1,000年頃に建てられたものです。あのベルタワーを見てください。

W：ええ。

M：あれは、もともとローマ人が建てた灯台の1つだったんですよ。

W：建物のメインの部分はどうなんですか？

M：征服王ウィリアムがここにノルマン城を初めて建設しましたが、今日お客様が見られているものに比べると小規模なものでした。大きなことを考え始めたのは、ヘンリー2世

なんですよ。彼は、今日見られるものの大半、中心の城と同心円上に2つの堀と塔を建てました。それ以降、新たな軍事的状況に対応するために、何回も姿を変えられていますが。地下には中世に始まり戦後に至るまで拡大され、建設されていた複合トンネルがあります。

W：見てみたいです。

M：今日は地下に行く時間はありませんが、メインの城はご案内できますよ。

Part C

M：あと3ブロックばかり行けば、メイン・スクエアに戻ります。あれだけ歩いたり、登ったりしてお疲れでしょう。

W：大丈夫です。このお店に寄っていいかしら。子供におみやげを買わないと。

M：もちろんですよ。

W：ええと。何を買えばいいかしら。ほとんどのものがちょっと高いわね。子供のシャツに20ポンドなんて！

M：こちらの昔風の鉛のおもちゃはいかがですか？ ローマ人の歩兵、サクソンの海賊から第2次世界大戦の戦闘パイロットまで何でもモデルになっていますよ。ほら、ウィンストン・チャーチルまであります。こっちは、フランシス・ドレイク卿ですね。

W：これは面白いですね。

M：ところでお子さんの名前をお聞きしてもよろしいですか？

W：ジョアンです。

M：いいお名前ですね。文学者の像もありますよ。チャールズ・ディケンズはどうか。あるいはエミリー・ブロンテとか。

W：この海賊を買おうと思います。ジョアンは大きくなったら海賊になりたがっているんです。

M：とても興味深い職業選択ですね。

W：まあ、5歳の子供ですからね。ところで、この辺りで美味しい夕食をいただける場所はどこにありますか？

M：Beggar's Coat Inn（乞食の上着旅館）を試されてはいかがでしょう？ とても手頃な食事を出しますよ。

W：Beggar's Coat Innですね。素敵な名前ね。どうやって行けばいいですか？

M：城の方に戻って、次の角で右に曲がってその道をちょっと行ってください。2番目の信号を通り過ぎた左側にあります。

W：来た道に戻って、右に曲がって、2番目の信号を過ぎたところの左側ですね。ありがとうございます。個人ツアーに参加できて本当にラッキーだったと思いますわ。

M：どういたしまして。

注

Part A

ℓ.2 ◇ make a tour reservation 「ツアーを予約する」

cf. make a *reservation for* ~ (～の予約を入れる)

ℓ.3 ◇ have in mind 「心の中に持っている→考えている」

ℓ.4 ◇ White Cliffs 「ホワイト・クリフ」

- ドーバー海峡を望む海岸沿いの石灰岩の白い崖。
- ℓ. 5 ◇ hear of ～ (from …) 「(…から) ～の存在を聞いて知っている」
- ℓ. 6 ◇ brochure 「パンフレット」
◇ Here it is. 「(指し示して) ほらここに。」
- ℓ. 8 ◇ along with ～ 「～に加えて」
◇ Charles Dickens 「チャールズ・ディケンズ」 英国の小説家 (1812-1870)。
- ℓ. 9 ◇ Henry James 「ヘンリー・ジェームズ」 英国に帰化した米国の小説家 (1843-1916)。
◇ work 「作品」
- ℓ. 10 ◇ site 「場所；遺跡」 cf. *historic site* (歴史遺跡), *cultural site* (文化遺跡)
- ℓ. 15 ◇ renovate ～ 「～を改装する；復元する」
- ℓ. 18 ◇ the public 「一般の人々」
- ℓ. 19 ◇ What a shame. 「それは残念ですね。」
◇ Bleak House：ディケンズの作品名として有名。(邦題『荒涼館』)
- ℓ. 21 ◇ spot 「スポット；地点」 ここでは上の *site* の置き換え表現。
- ℓ. 25 ◇ a.m., p.m. 「午前, 午後」
○ a.m., p.m. は、時間の後に付ける。a.m.11:00 は誤り。
- ℓ. 26 ◇ out of luck 「ついていない」
- ℓ. 27 ◇ Why don't you …? 「…したらどうですか。」
- ℓ. 29 ◇ in an hour 「1 時間後に」 cf. *within* an hour (1 時間以内に)

Part B

- ℓ. 1 ◇ quite an impressive place 「印象的な場所」
○ quite = very. 語順に注意。この場合, a quite よりこの方が自然。
◇ expect ～ to be … 「～が…であると予想する」
- ℓ. 2 ◇ fortification 「防御設備」
◇ prehistoric 「有史以前の」
- ℓ. 3 ◇ two miles away 「2 マイル離れた所に」
- ℓ. 6 ◇ Julius Caesar 「ジュリアス・シーザー」
◇ B.C. 「紀元前」 年代の後に付ける。
◇ Celtic fort 「ケルト族の要塞」
- ℓ. 11 ◇ Saxon pirates 「サクソン人の海賊」
◇ raid ～ 「～を襲撃する」
◇ pharos, lighthouse：いずれも「灯台」の意味。
- ℓ. 13 ◇ anything left that ～ 「～で残っている何か」
- ℓ. 14 ◇ to the right 「右方向に」
- ℓ. 16 ◇ A.D. 「紀元」 年代の前にも後にも付ける。
◇ bell tower 「ベルタワー」
- ℓ. 20 ◇ William the Conqueror 「征服王ウィリアム」 (英国の王)
cf. *Alfred the Great* (アルフレッド大王)
◇ Norman castle 「ノルマン城」

- ℓ. 21 ◇ Henry II 「ヘンリー 2 世」 英国の王 (1154-1189)。
 ◇ think big 「大きなことを考える」
 ℓ. 22 ◇ concentric 「同心の」
 ℓ. 24 ◇ complex 「集合施設」
 ◇ medieval times 「中世」 times と複数形になることに注意。
 ℓ. 25 ◇ post-war 「戦後の」 ⇔ pre-war 「戦前の」

Part C

- ℓ. 2 ◇ all that ～ 「あれだけの～」
 ℓ. 3 ◇ look in 「立ち寄る」
 ℓ. 5 ◇ stuff 「もの」
 ℓ. 7 ◇ lead [léd] 「鉛」
 ℓ. 8 ◇ foot soldier 「歩兵」
 ℓ. 9 ◇ Winston Churchill 「ウィンストン・チャーチル」 英国首相 (1874-1965)。
 ◇ Sir Francis Drake 「フランシス・ドレイク卿」
 ○ 16 世紀に世界を周航したイギリスの元海賊 (1543?-1596)。
 ℓ. 12 ◇ Joan 「ジョアン」
 ℓ. 13 ◇ figure 「像」
 ℓ. 14 ◇ Emily Bronte 「エミリー・ブロンテ」 英国の小説家 (1818-1848)。
 ℓ. 15 ◇ grow up to be ～ 「大人になったら～になる」
 ℓ. 17 ◇ five-year-olds 「5 歳の子供たち」 a-five-year-old (5 歳の子供) の複数形。
 ℓ. 21 ◇ go down the street a little way 「その通りを少し行って」
 ℓ. 24 ◇ private 「個人の」 ここでは一般のツアーに参加したが、まるで個人的なツアーの
 ようによくしてもらったお礼として private tour と言っている。
 ℓ. 25 ◇ It was my pleasure. 「どういたしまして。」 (= My pleasure.)

【配点】 31 点

Part A (1) 3 点 (各 1 点) (2) 2 点

Part B 各 2 点

Part C 各 2 点

【3】

解答

- (1) c (2) a
 (3) ア on [upon] イ to ウ in エ on
 (4) b
 (5) “there” that they expected is nowhere to be found
 (6) 「全訳」下線部◎参照。
 (7) e
 (8) 1 material 2 emotional 3 material

- (9) ①それが私たちに意味するところは定量化〔数値化〕することはできない
②それが私たちに意味するところは計り知れないくらい重要だ

全訳

お金は、食と住（ちなみに、私は何もキャビアとか城のことを言っているわけではない）に最小限必要なものであることはもちろんだが、目的のための手段に過ぎない。けれども、私たちは手段と目的を混同し、お金（手段）のために幸福（目的）を犠牲にすることが非常に多いのである。

私たちの社会ではよくあることだが、物質的富が最終目的という地点にまで高められると、手段と目的を混同しやすくなる。だからと言って、物質的富の蓄積と生産がそれ自体悪いことだと言うつもりはない。物質的繁栄は社会だけでなく個々の人々がより高いレベルの幸福を達成する助けにもなるからである。経済的に安定しているなら、私たちは意味の見出せない仕事から解放されるし、また次の給料のことを心配しなくてもいいのだ。そうは言っても、価値があるのはお金自体ではなく、お金がより建設的な経験を作り出す潜在的可能性を持っているという事実なのである。物質的富は、必ずしもそれ自体がひとりでに意味を生み出すわけでもないし、心の豊かさを実現してくれるわけでもない。

富と幸福の関係は、私たちの大半の者が考えていることとはかなり違うことがさまざまな研究によって明らかにされてきた。幸福についての異文化間の広範囲にわたる長期的な研究の中で、心理学者のデイビッド・マイヤーズは、人間が生きて行く上で基本的に必要とするものが満たされていない極貧の場合を除いて、物質的富と幸福の間にはかなり低い相関関係しかないことを発見した。加えて、多くの国の国民は、この50年間に以前よりも豊かになったけれども、幸福のレベルは上がっておらず、いやむしろ下がっていることの方が多いことが研究によって明らかにされているのである。

ノーベル経済学賞の受賞者であるダニエル・カーネマンは、ここ数年にわたって自らの関心を幸福の研究に注いできた。カーネマンと彼の同僚たちによる調査によると、富と肯定的感情との関係を裏づけるものはほとんど発見されていない。

収入が多ければ幸福な気分になれるという考えが広く行きわたっているが、たいていは幻想である。平均以上の収入がある人々は比較的自分の生活に満足しているものの、時々刻々の経験において平均以上の収入がない人よりも幸福であることはほとんどなく、より緊張している傾向があり、ことさら楽しい活動により多くの時間を費やしているわけでもない。その上、収入が生活の満足に与える影響は束の間であるように思われるのだ。私たちが主張したいのは、人は自らの人生や他の人の人生を評価する時、型にはまった事柄を成し遂げることにいくぶん重点を置きすぎるために、収入が幸福に及ぼす貢献度を誇張しているのではないかということである。

驚くべきことに、物質的繁栄をひとたび達成してしまうと、それを求めて奮闘していた時よりも、気分の落ち込みを感じる人もいる。猛烈な出世争いに力を消耗する人は、自分の行動が将来の利益を生み出すであろうとの期待に支えられていて、そのおかげで否定的感情にもより耐えることが可能になる。けれども、ひとたび目的地に到達し、物質的繁栄が自分を幸福にしないと分かると、自分を支える物は何もない。心は絶望感と無力感でいっぱいにな

るが、その理由は、他に期待できるものが何もない、つまり、幸福になれそうな未来を思い描くことを可能にするようなものが何もないからである。

かなりの成功を取めた人でも、うつ状態になり、アルコールや薬物に手を出した例は枚挙に暇がない。逆説的だが、「成功すること」は人をより不幸にしてしまうものなのだ。というのも、自分の夢を実現できないうちは不幸ではあったかもしれないが、一旦そこに辿り着けば自分は幸福になれるという信念に支えられていたのである。そしてそこに辿り着くと、彼らが待ち望んでいた「そこ」はどこにも見当たらない。彼らは、多くの人が抱いている幻想、つまり物質的繁栄と地位は永続的幸福を与えてくれるという幻想を奪い取られて、「さてどうしよう」症候群に襲われるのだ。自分の払った努力と犠牲が究極の通貨をもたらしてくれなかったことに気づいて、彼らは身をもって学んだ無力感に身を沈めていく。◎彼らはニヒリズムに陥り、何をやっても幸福になることなどあり得ないという事実を仕方なく受け入れ、しばしば不幸な状態から逃れようと破滅的な代替的手段に頼るのである。

こんなふうに物質的富が幸福をもたらさないならば、なぜそれに取りつかれるのか。なぜこうもしばしば金持ちになることが意味を見出すことよりも優先されるのか。なぜ私たちは心の判断基準よりも物質的判断基準に基づいて決断する方がはるかに心地よいと感じるのか。

進化論的アプローチを採るなら、私たちの遠い過去が現在の行動を決定しているということもありうるのである。私たちがまだ狩猟採集の民であった頃、富（主に食糧だが）を蓄積することが次の干ばつや寒い冬を生き延びることができるかどうかを決定していた。だから貯蔵することは私たちの体質の一部になったのである。今日、その将来が物質的に安定している人たちですら、自分が必要とする量をはるかに超えて貯蔵する傾向がある。富の蓄積はもはや生存のための手段ではなく、それ自体が目的となっている。e 私たちはもはや生きるために蓄えているのではなく、蓄えるために生きているのである。

決断や判断を下す時も、私たちは精神的なものに注意を払うというよりもむしろ、物質的なものに重点を置く傾向があるが、それは数量化できるものの方が査定や評価になじみやすいからだ。私たちは計測できないもの（感情や意味）よりも計測できるもの（物質的富や名声）の方が価値があると考えているのだ。

物欲の強い私たちの世界では物欲の強い男女が崇められる。富裕な人は物を所有することによって崇拜されるが、それはまるで正味財産こそが人がどのくらい価値があるかを測るための適切な尺度であるかのようなのである。学者たちは昇進のための重要な判断基準として出版物の数を数える。私たちは1日や1週間の価値をどれだけ生産的であったかとか、どれだけ仕事を終えたかなどに従って評価する。ローレンス・G・ボウルトが『禅と生計を立てる術』という本の中で言っているように、「社会は私たちをこう教化する。重要な唯一の事柄は物質である、重要な唯一の事柄は数えることができる事柄である。」と。家の金銭的価値は数量化できるが、私たちが自分の家に寄せる気持ちは数量化できない。シェークスピアの『ハムレット』は本屋では10ドルの値段がついているかもしれないが、それが私たちにどんな意味を持っているかは数量化することはできない。

注

ℓ. 13 ◇ longitudinal 「長期的な」

ℓ. 26 ◇ tranigent 「束の間の」

- ℓ. 33 ◇ bearable 「我慢できる」
 ℓ. 54 ◇ hoard ～ 「～を蓄える」
 ℓ. 62 ◇ revere ～ 「～を崇拜する」

【配点】 46 点

- (1) 1 点 (2) 1 点 (3) 各 2 点 (4) 1 点 (5) 5 点
 (6) 11 点 (7) 1 点 (8) 各 2 点 (9) 8 点 (各 4 点)

【配点の目安】

- (6) ① They experience nihilism (2 点)
 ○ experience nihilism 「ニヒリズムに陥り」「虚無的性向に陥り」
 experience は「体験する」でも可。
 ② and resign themselves to the fact that (3 点)
 ○ resign themselves to ～ 「～という事実を受け入れ〔に身を任せ〕」
 ③ nothing could possibly make them happy, (2 点)
 ④ often turning to alternative means that are destructive (2 点)
 △ alternative means (代替的手段) の誤り – 1 点
 ⑤ in an attempt to escape their unhappy state (2 点)
 (9) what it means to us cannot be measured
 (文脈内での意味)
 ①それが私たちに意味するところは定量化〔数値化〕することはできない (4 点)
 (暗に述べた意味)
 ②それが私たちに意味するところは計り知れないくらい重要だ (4 点)

【全体で】

cannot be measured に、「数値化できない」と、「数値化できないほど重要だ」の 2 つの意味が含まれていることが理解できていれば可。



会員番号	
------	--

氏 名	
-----	--